

八千代市立郷土博物館

館 報

No. 3 2



(令和 7 年度)

八千代市立郷土博物館

はじめに

このたび、「八千代市立郷土博物館館報No.32（令和7年度）」を刊行するはこびとなりました。

当館においては、企画展や様々な講座を実施することにより、広く利用者に見学や体験機会を提供しておりますが、それと同時に博物館で収蔵している資料の整理や調査を積極的に実施しています。特に収蔵品資料の整理については、企画展や講座の企画立案の基本となる部分であることから、民俗資料をはじめとして考古資料や古文書の整理を現在も進めております。

令和7年度の主要なテーマは、令和5年の博物館法改正を受けた、古文書目録公開や古文書デジタル化などのDX（デジタルトランスフォーメーション）化の動きです。また、内部資料としての目録の整理は、令和6年度に引き続き実施して参りました。さらに、職員の不足などの理由で実施が困難だった博物館実習生の受入れを再開させ、次世代の学芸員育成にも力を入れております。

今後についても、博物館の求められる役割が、より地域に根ざした拠点として変化していく中で、資料の重要性はさらに増していくことでしょう。それらの収集、保存、調査、研究を引き続き進め、地域文化の一端を担う博物館をめざし、努力してまいります。

令和8年6月吉日
八千代市立郷土博物館

八千代市立郷土博物館基本的運営方針（八千代市立郷土博物館の使命）

平成27年4月 1日制定

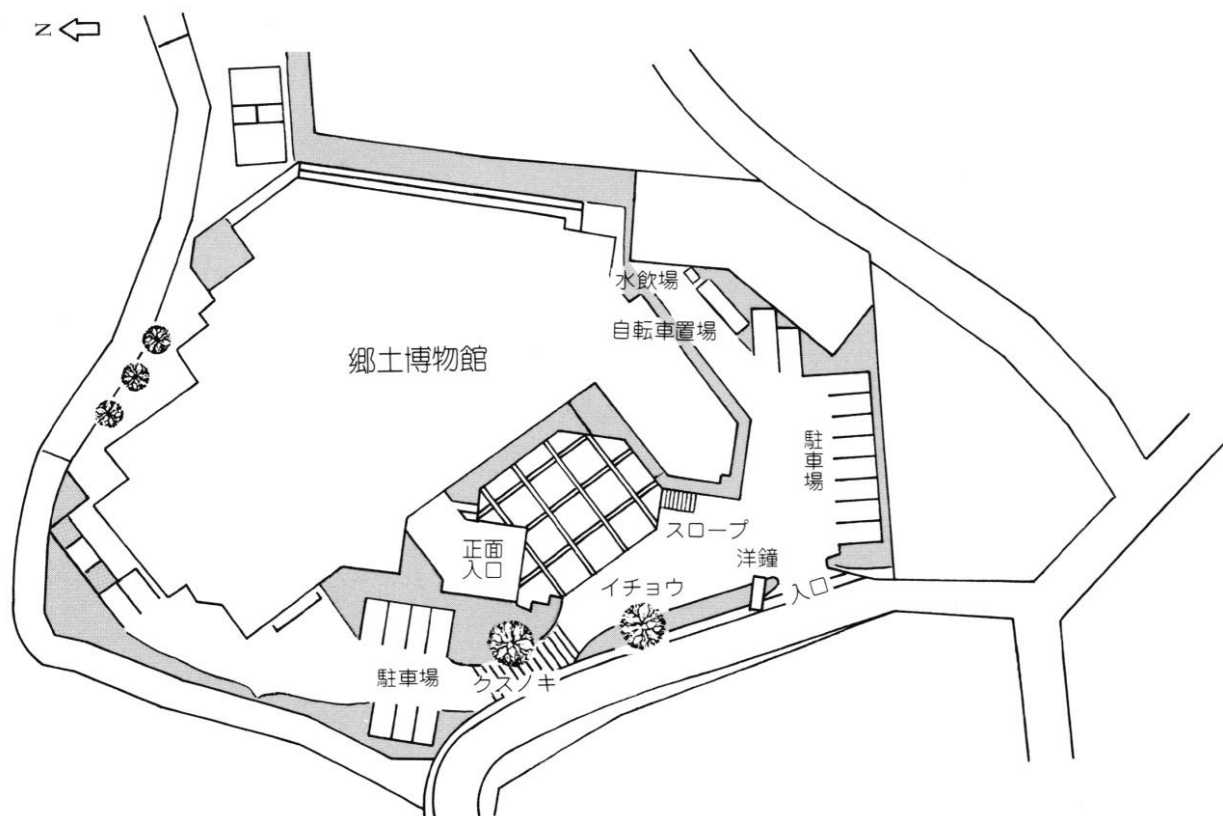
平成31年3月18日改定

- 1 地域に伝えられてきた、歴史資料、考古資料、有形・無形の民俗資料、動植物の標本類等自然関係資料を保存・継承するとともに調査・研究を行い、市民への効果的活用を図る。
- 2 教育、学術及び文化の発展に寄与するため、子どもから高齢者に至るまでを対象とした展示・講座等多様な博物館事業を開催する。
- 3 文化・学習活動の拠点としての博物館の構築により、多様な博物館利用を促進し、地域の活性化に寄与する。
- 4 各学校との連携を密にし、学校教育の効果的運営を支援するとともに、児童・生徒の興味及び探究心を育み、共生社会の一員としての認識を深めることに寄与する。
- 5 観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業等様々な分野との連携が期待されている状況を踏まえ、これらに応える市民に対する諸事業の開催を図る。

目 次

はじめに	
I 沿革	1
II 令和7年度組織	2
III 施設概要	3
IV 令和7年度予算	3
V 博物館事業	4
1 資料	4
(1) 収蔵資料	
(2) 資料収集	
(3) 資料貸与等	
(4) 資料保存	
(5) 資料の修補	
(6) 図書資料	
2 調査・研究	16
3 展示	17
(1) 常設展示	
(2) 企画展示	
(3) 特別展示	
(4) ロビー展示	
4 学校連携	20
(1) 小中学校対応	
(2) 博物館実習受入	
5 市民学習の支援	21
(1) 企画展関連事業	
(2) やちよの民俗行事	
(3) 古文書講座	
(4) やち博講座	
(5) 博物館上映会	
(6) 観察会	
(7) 体験講座	
(8) 子ども講座	
(9) 地域における子どもたちの学習支援	
(10) 同好会の育成・連携事業	
(11) 講師派遣	
(12) 学習室等の施設利用	
(13) 刊行物の作成・配布	
6 地域協働	25
(1) 博学連携	
(2) 関係機関との連携	
7 広報	25
8 博物館協議会	25
9 令和7年度のまとめ（自己評価）	26

統計資料・関連条例等	27
1 博物館入館者数の推移	27
2 令和7年度 団体・個人別入館者数	27
3 令和7年度 博物館利用者アンケート集計結果	28
4 令和7年度 企画展アンケート集計結果	29
5 条例・規則	30
○八千代市立郷土博物館の設置及び管理に関する条例	
○八千代市立郷土博物館の設置及び管理に関する条例施行規則	
○八千代市立郷土博物館に勤務する職員の勤務時間等に関する規程	
○八千代市立郷土博物館協議会運営規則	



郷土博物館敷地内施設配置

I 沿革

【八千代市郷土資料室】以前

明治 6 年	正覚院に旧村上小学校開設
明治 40 年	当地に旧村上小学校移転
昭和 49 年 5 月	村上小学校，村上団地内に移転

【八千代市郷土資料室】

昭和 52 年 7 月 15 日	郷土資料室（民具室）（1 階 2 室）開設
昭和 54 年 8 月 15 日	考古資料室（2 階 1 室）開設
昭和 59 年 6 月 3 日	民具第 2 室オープン



八千代市郷土資料室展示風景

【八千代市歴史民俗資料館】

平成 5 年 5 月 15 日 開館



「土器づくり教室」

【八千代市立郷土博物館】

平成 12 年 4 月
八千代市歴史民俗資料館から名称変更
平成 12 年 5 月
登録博物館に認定される
平成 24 年 9 月 1 日
八千代市立郷土博物館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正し，国民の祝日に関する法律に規定する休日を開館日とする

平成 24 年 11 月 11 日

博物館入館者 30 万人を達成

平成 25 年 5 月 15 日 開館 20 年

平成 28 年 3 月 平成 27 年度入館者数が過去最多の 29,290 人達成

平成 28 年 6 月 19 日 博物館入館者 40 万人を達成

平成 31 年 4 月 1 日 組織改正により，「郷土博物館」は教育総務課から文化・スポーツ課の所管となる

令和元年 10 月 12 日～13 日午後 1 時まで 台風 19 号の接近・通過のため臨時休館

令和 2 年 2 月 29 日～3 月 31 日 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため臨時休館

令和 2 年 4 月 1 日～5 月 31 日 臨時休館延長

令和 2 年 12 月 22 日 博物館入館者 50 万人を達成



博物館外観

Ⅱ 令和7年度組織

1 職員（令和8年3月31日時点）

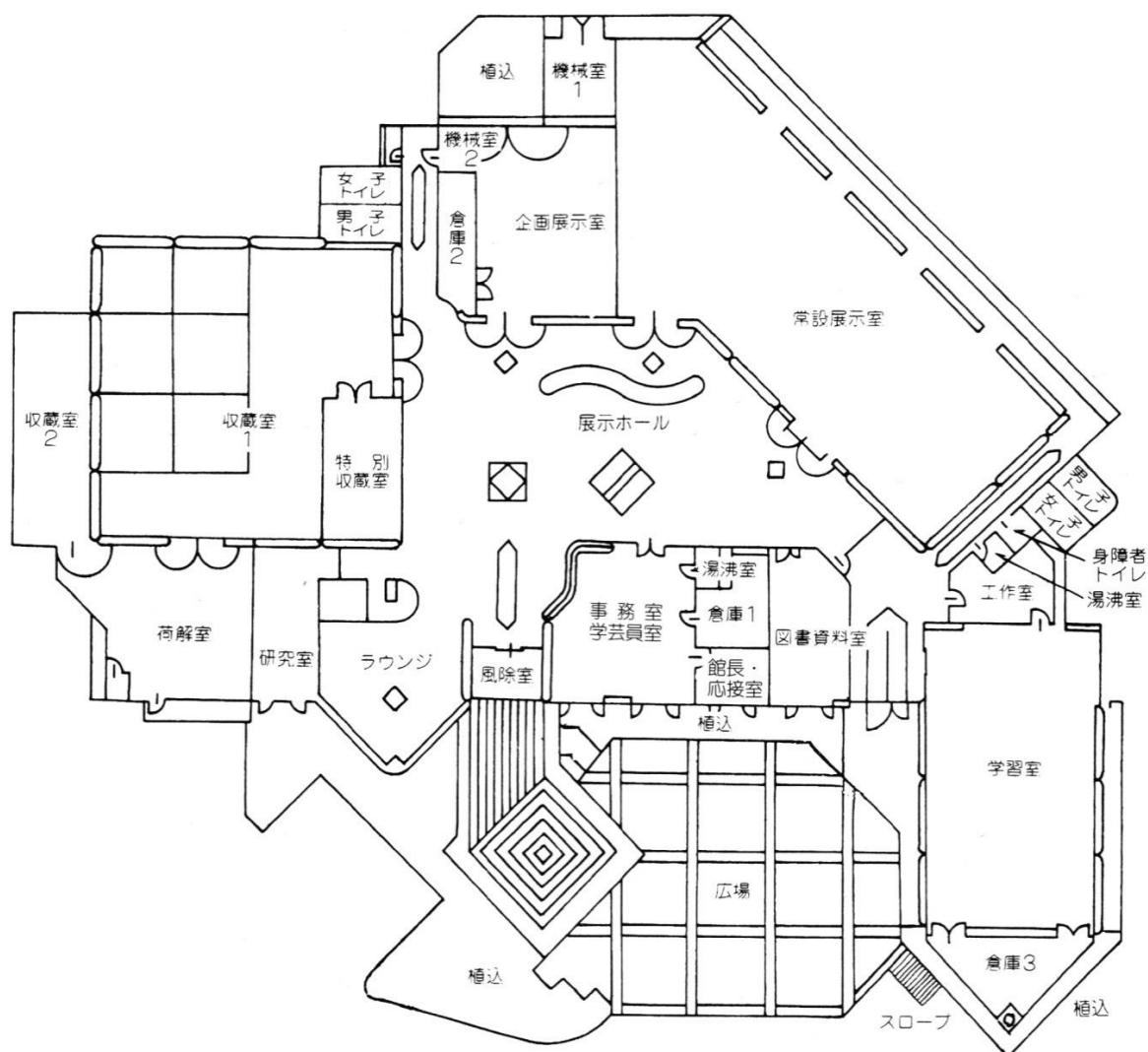
八千代市教育委員会	教 育 長	嶺岸 秀一
	教育次長	石原 雄二（社会教育担当）
文化・スポーツ課	課 長	大野 光弘
八千代市立郷土博物館	館 長	中村 元重
	職 員 主 査	保田 敦（庶務担当）文化伝承館兼務
	主 査 補	安藤 茂和（庶務担当）文化伝承館兼務
	主任学芸員	宮下 聡史（学芸担当）文化伝承館兼務
	主任主事	作左部 孝（庶務担当）文化伝承館兼務
	学 芸 員	吉田 赳（学芸担当）文化伝承館兼務
	資料調査研究員	常松 成人（考古・民俗担当・会計年度任用職員）
	資料調査研究員	野中 政博（近世・古文書担当・会計年度任用職員）
	資料調査研究員	中村 心愛（近代・古文書担当・会計年度任用職員）
	学芸補助員	片岡 良美（古文書担当・会計年度任用職員）
	博物館資料整理員	藤代 晴美（会計年度任用職員）
	博物館資料整理員	箕輪 幸恵（会計年度任用職員）
	博物館資料整理員	佐藤 智恵子（会計年度任用職員）
	博物館資料整理員	池田 孝子（会計年度任用職員）

2 八千代市立郷土博物館協議会委員（敬称略）

八千代市立郷土博物館協議会は、「八千代市立郷土博物館の設置及び管理に関する条例（平成12年八千代市条例第6号）第8条第1項の規定に基づき設置している。

委 員	久留島 浩	学識経験者（人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館 名誉教授）
委 員	斎木 健一	学識経験者（千葉県立中央博物館 主任上席研究員）
委 員	小林 弘治	学識経験者（学校法人 聖書学園 千葉英和高等学校 非常勤講師）
委 員	目黒 英樹	学校教育関係者（八千代市立勝田台南小学校 校長）
委 員	八巻 憲一	社会教育関係者（八千代市子ども会育成連絡協議会 会長）

Ⅲ 施設概要



八千代市立郷土博物館 館内配置図

Ⅳ 令和7年度予算

郷土博物館運営管理事業 8,417千円

(1) 郷土博物館運営事業 2,584千円

博物館事業の実施に係る，博物館資料整理員等の賃金，外部講師の謝金，ポスター・チラシ等の印刷，運営用消耗品の購入，収蔵資料管理システムの借上等

(2) 郷土博物館維持管理事業 5,833千円

機械警備・清掃・環境調査の業務委託，維持管理用消耗品の購入，ファンコイルドレン配管修繕，非常放送設備非常電源蓄電池交換修繕，AED・消火器の借上等

V 博物館事業

資料の収集・保管・保存，市内民俗行事・資料に係る調査・研究を基礎として，『新川流域の自然と人々とののかかわりの変遷』をテーマとした常設展示のほか，市民の求める内容を検討し，企画展示，特別展示，講演会，講座，体験教室等の各種事業を開催した。

1 資料

(1) 収蔵資料

八千代市域を中心とした自然標本・考古遺物・古文書・絵図・民俗資料等の資料類を収集し保管・管理し，後世への継承を図るとともに，これらの調査・研究成果を，常設展示及び企画展示への活用等により市民へ公開する。

(2) 資料収集

個人的に保管されてきた貴重な資料類の散逸・毀損を防止するとともに，適正な保管・管理を行い，展示・研究等に活用するために収集する。

令和7年度収集数：

合計 18件 2,181点

(登録資料数)

種 別	総点数
古文書	36, 322
自然資料	2, 968
民俗資料	6, 838
考古資料	975
写真資料	1, 263
地図資料	519
拓本	151
映像	10
その他	4
合計	49, 167

令和7年度収集資料一覧

	資料名	点数	区分	寄贈者・寄託者	受領日
1	パリオリンピックパブリックビューイングポスター	1	寄贈	個人	4月8日
	応援用 うちわ	3			
	応援用 風船	8			
	パンフレット	2			
2	アルコールランプ	1	寄贈	個人	4月8日
	五徳	1			
	金網	1			
3	新聞記事スクラップブック「大東亜戦争新聞切抜」	9	寄贈	個人	5月20日
	新聞記事スクラップブック「軍神の母 軍神の面影」	1			
	新聞記事スクラップブック「橋本関雪 大東亜圏を征く 南方の構想」	1			
4	大和田小学校卒業記念アルバム・昭和27年	2	寄贈	個人	5月20日
	大和田中学校卒業記念アルバム・昭和30年	2			
	写真（新倉農場，小学校記念撮影，成人式，結婚式，大和田排水機場前 ほか）	39			
	八千代市市民会館落成式での敷地提供者への配布物（市民会館パンフレット，「広報やちよ」No.132）	2			
	「春宵閨秘戯図」青焼きを製本	1			

5	留袖（黒留袖，色留袖）	2	寄贈	個人	5月30日
	帯（袋帯，名古屋帯）	2			
6	伊勢型紙	2	寄贈	個人	8月28日
7	杉山家文書	20	寄贈	個人	9月3日
8	着せ替え人形（市松人形）	1	寄贈	個人	9月14日
9	神棚	2	寄贈	個人	10月11日
10	松戸家文書	1687	寄贈	個人	12月7日
	絵画作品「楠木正成・正行父子の桜井の別れの図」（下張り文書あり）	1			
	『やちよの姿』（市勢要覧）	1			
	『春秋左氏伝』	15			
	木箱，木箱納入物（書作品，刀剣手入れ用具，掛軸の部品，目打ち，ほか一括）	7			
11	植村家資料（航空機関連書籍，記念撮影写真，おみくじ，給料袋 ほか）	13	寄贈	個人	1月23日
12	濱野家資料（学習指導書，教科書，雑誌，写真画報，新聞，地図，うちわ，レコード ほか）	170	寄贈	個人	2月13日
13	教科書，雑誌付録	2	寄贈	個人	2月17日
	台帳	1			
	うちわ	4			
	掛軸，書	10			
	木箱	1			
14	足踏みミシン	2	寄贈	個人	3月17日
	タイプライター	1			
	ベビーアイロン	1			
	花見川団地居住者名簿	1			
	日記	1			
	型紙セット	1			
	火鉢用品（火箸，五徳，爛銅壺）	3			
	七輪	1			
	背負い籠	1			
15	山本禮典家文書	148	寄託 から 寄贈	個人	3月17日
16	桑橋区有文書	156件	寄贈	桑橋区	3月25日
17	八千代市役所事務服（男性用）	1	寄贈	個人	3月31日
18	勝田区有文書	7件	寄託	勝田区	3月31日

(3) 資料貸与等

収蔵する資料類を、学校授業の支援や関係機関の事業充実等のために、貸与・提供等の特別利用を受入れた。

合計 28件 177点

令和7年度資料等特別利用申請一覧

No.	許可日	資料名	点数	利用内容	利用目的	利用者
1	4. 3	館内のスナップ写真	20	撮影・掲載・ブログ	ブログ	0linace 八千代第2
2	4. 13	板碑の拓本	50	閲覧・複写・掲載	『八千代市内の有刻板碑集成』	八千代市郷土歴史研究会
3	5. 9	稲垣峰一家文書No.3168「消息往来」表紙	1	借用	古文書修補作業での表紙選定	個人
4	6. 26	印旛沼出現怪獣想像模型、『天神七代地神五代大日本史年代治乱記 附年代記』	2	閲覧・撮影・掲載	地域情報紙『エリート情報』	株式会社エリート情報社
5	7. 19	八千代市民俗音楽シリーズ2『勝田の獅子舞』	1	閲覧・借用	八千代高校での演奏の参考	個人
6	7. 29	『天神七代地神五代大日本史年代治乱記 附年代記』新聞掲載ページの写真データ	2	複写	古文書サークルでの教材	個人
7	7. 30	稲垣峰一家文書No.432～437	6	閲覧・複写	論文執筆	個人
8	6. 24	白幡前遺跡ほか出土土器、銭貨等	20	撮影・実物展示	令和7年度出土遺物公開事業	公益財団法人千葉県教育振興財団
9	6. 24	白幡前遺跡 D258 住居跡出土人面墨書土器写真データ	1	掲載・画像展示	令和7年度出土遺物公開事業	公益財団法人千葉県教育振興財団
10	7. 26	弓錐、火切り板	10	借用	火起こし体験	ボーイスカウト八千代第5団ビーバー隊
11	7. 31	企画展「病をのりこえて」展示資料	1	閲覧・撮影・掲載	『読売新聞』千葉版	読売新聞千葉支局
12	7. 31	狛犬	2	閲覧・撮影	夏休み自由研究	個人
13	8. 6	ヲイノ作南遺跡出土縄文時代前期深鉢	1	借用・実物展示	出土文化財展示会	文化・スポーツ課文化財班
14	8. 9	「下総国印旛沼御普請堀割絵図」写真データ	1	放映	NHK Eテレ『偉人の年収 How much?』	NHK エデュケーショナル
15	8. 9.	「下総国印旛沼御普請堀割絵図」写真データ	1	放映	NHK「べらぼう紀行」	NHK エンタープライ

						ズ
16	8. 15	『八千代市坊山遺跡』掲載資料, 『八千代市権現後遺跡』掲載資料	8	閲覧・撮影	修士論文に関わる調査・研究	個人
17	9. 14	展示室	1	撮影	レポート作成	個人
18	9. 26	館内の資料の写真データ (印旛沼出現怪獣想像模型等)	1	掲載	小説執筆	個人
19	11. 20	白井富美子家文書	1	閲覧・撮影	卒業論文執筆	個人
20	11. 20	「下総国印旛沼御普請堀割絵図」写真データ	1	掲載	NHK「べらぼう紀行」DVD 及び Blu-ray 再収録	NHK エンタープライズ
21	12. 7	村上の神楽の面	13	閲覧・撮影・実測	研究調査	やちよの社会と生活研究会
22	12. 23	上谷遺跡出土資料 (墨書・刻書土器, 鉄製鋏先, 温石, 三彩陶器・蓋, 転用硯)	17	借用・展示	文化財発表会に伴う野田市郷土博物館企画展示	文化・スポーツ課文化財班
23	1. 30	山本禮典家文書目録	1	閲覧・撮影	神社史作成	七百餘所神社
24	2. 17	山本家文書No.23・102・135 写真データ	3	掲載	『史談八千代』第50号寄稿文	七百餘所神社
25	3. 4	権現後遺跡 D007 遺構出土灰釉段皿	1	借用・実物展示	千葉県立房総のむら風土記の丘資料館常設展示	公益財団法人千葉県教育振興財団
26	3. 12	八千代台駅・京成勝田台駅の各写真データ	2	掲載	大和ハウス工業(株)発行の会報誌『悠友・京葉』	株式会社 FT プラニング ハウス東京
27	3. 19	青銅製華瓶	1	借用	展示	文化・スポーツ課文化財班
28	3. 26	屠龍の機体の一部	7	撮影	匝瑳歴史市民塾講演資料	千葉英和高等学校

(4) 資料保存

資料を虫害等から防ぐため、環境調査及び状況への対応を行った。

3回の環境調査において、館内に昆虫等捕獲用トラップを設置し、一定期間経過後回収した結果、資料加害害虫等昆虫類の発生・侵入が若干確認されたため、その発生原因や侵入経路について、清掃等の対策を講じた。

第1回環境調査

期間 令和7年4月17日(木)～令和7年6月13日(金)(57日間)

使用資機材・数量

歩行性昆虫類捕獲用資機材（シートトラップ） 30 か所

文化財害虫捕獲用資機材（フェロモントラップ） 4 か所

第2回環境調査

期間 令和7年6月13日（金）～8月26日（火）（74日間）

使用資機材・数量 第1回と同じ

第3回環境調査

期間 令和7年8月26日（火）～10月16日（木）（51日間）

使用資機材・数量 第2回と同じ

(5) 資料の修補

当館には約3万点の古文書等が保管されているが、虫損や汚れ等により遺存状態が良好ではなく、致命的な状態となることが予想される資料も少なくない。このことから、将来へ古文書等を伝えてゆくため、定期的に修補を行っている。

また、古文書修補技術向上のため元宮内庁書陵部修補師長の横山謙次氏を講師として研修を行った。

（期日：6月17日（火）、8月1日（金）、令和8年2月17日（火））

令和7年度実施回数 37回

(6) 図書資料

関係機関等から寄贈された図書類を、調査・研究や企画展等の博物館事業への活用や、市民の学習活動等に利用している。

令和7年度末所蔵数 18,610冊

令和7年度受入数 247冊（同一本 複数冊の受入あり）



古文書修補 クリーニング作業

令和7年度受贈図書一覧

寄贈者名	資料名称
朝霞市博物館	根岸古墳群と内間木古墳群 ～朝霞の古墳時代～
	朝霞市博物館調査報告書 第12集 比留間（梅泉）家文書目録
旭市教育委員会	大原幽学記念館報告 第11号
我孫子市教育委員会	我孫子市文化財報告第24集 漫画で解説！ 楚人冠ってどんな人？
板橋区教育委員会	歴史民俗研究 第23回櫻井徳太郎賞受賞論文・作文集
板橋区立郷土資料館	戦後80年 区民が生きた戦争の時代
	ようこそ 中山道板橋宿へ ～江戸時代の旅人たちとタイムトラベル～
	高島秋帆 ～高島平のはじまり～
	板橋区立郷土資料館 年報 第36・37号 板橋区立郷土資料館 紀要 第25号（合本）
市川市	市川市史 歴史編Ⅱ ムラとマチ（通巻2）
市立市川考古博物館	市立市川考古博物館 館報 第52号
市立市川自然博物館	令和5年度 市立市川自然博物館年報 No. 35
市立市川歴史博物館	令和5年度 市立市川歴史博物館館報

市原市教育委員会	市原市埋蔵文化財調査センター調査報告書第 65 集 市原市郡本遺跡群（郡本地区第 34 次）
	市原市埋蔵文化財調査センター調査報告書第 66 集 市原市潤井戸遺跡群（西ノ崎地区）
	市原市埋蔵文化財調査センター調査報告書第 67 集 令和 6 年度 市原市内遺跡発掘調査報告
市原歴史博物館	うまれかわりの旅 ーいちいはらと出羽三山信仰ー
稲敷市立歴史民俗資料館	稲敷市立歴史民俗資料館館報 第 19 号
	稲敷市立歴史民俗資料館開館 30 周年記念 中世リレー講演会講演録
	関口一行、五四イニングス連続無失点記録の軌跡 一九七五年夏、茨城に伝説のエース出現！
伊能忠敬記念館	伊能忠敬記念館年報 第 27 号
岩宿博物館	岩宿博物館 令和 5 年度 年報
	縄文時代の始まりと洞窟遺跡
	発掘ガールの考古学入門 ー猪苗代湖畔で学び、つなぐ旧石器時代ー
印西市教育委員会	令和 5 年度 印西市内遺跡発掘調査報告書 中郷遺跡（第 5 地点）他
印西市立印旛歴史民俗資料館	印西市立印旛歴史民俗資料館 研究紀要 第 7 号 年報（令和 5 年度）
印西市立木下交流の杜歴史資料センター	印西の歴史 第 15 号 令和 7 年 3 月
大田区立郷土博物館	大田区立郷土博物館 紀要 第 26 号
小山市立博物館	小山市立博物館館報 第 42 号 令和 6 年度（2024）度版
柏市教育委員会	令和 4 年度 柏市市内遺跡発掘調査報告書
	柏市埋蔵文化財調査報告書 109 千葉県柏市 呼塚遺跡（第 26 次）
	柏市埋蔵文化財調査報告書 110 千葉県柏市 館林遺跡（第 7 次） 他
	柏市埋蔵文化財調査報告書 111 千葉県柏市 寺下前遺跡（第 24 次） ー保育所建築に伴う埋蔵文化財調査ー
かすみがうら市歴史博物館	かすみがうら市歴史博物館年報 第 10 号 令和 5 年度（2023）
葛飾区郷土と天文の博物館	かつしかとスポーツ
神奈川大学日本常民文化研究所	民具マンスリー 第 58 巻 1 号
	民具マンスリー 第 58 巻 2 号
	民具マンスリー 第 58 巻 3 号
	民具マンスリー 第 58 巻 4 号
	民具マンスリー 第 58 巻 5 号
	民具マンスリー 第 58 巻 6 号
	民具マンスリー 第 58 巻 7 号
	民具マンスリー 第 58 巻 8 号
	民具マンスリー 第 58 巻 9 号
	民具マンスリー 第 58 巻 10 号
	民具マンスリー 第 58 巻 11 号
	民具マンスリー 第 58 巻 12 号
	生活世界の史科学 歴史と民俗 42
鎌ヶ谷市教育委員会	鎌ヶ谷市埋蔵文化財調査報告 第 42 集

鎌ケ谷市教育委員会	令和 6 年度 鎌ケ谷市内遺跡発掘調査報告書 新山 No. 2 遺跡(3 次) 他
君津市教育委員会	令和 6 年度 君津市内遺跡発掘調査報告書 君津市 箕輪遺跡
君津市立久留里城址資料館	没後 300 年記念 新井白石 一人と資料の出会いの百花繚乱ー
國學院大學文学部博物館学研究 室	國學院大學 博物館學紀要 第 49 輯 2024 國學院大學博物館學研究 第 4 号
国際文化財(株)東日本支店	柏市埋蔵文化財調査報告書 117 柏市柏インター西土地区画整理事業 埋蔵文化財埋蔵文化財調査報告書 7 ー出山遺跡(第 10 次)ー 第 I 分冊 第 II 分冊
国立歴史民俗博物館	時代を映す錦絵 ー浮世絵師が描いた幕末・明治ー 令和 7 (2025) 年度 国立歴史民俗博物館要覧 野村正治郎とジャポニズムの時代 ー着物を世界に広げた人物ー REKIHAKU 015 特集「性／生のルールを考える」 REKIHAKU 016 特集「海藻 東アジアをつなぐ海の資源」
駒澤大学禅文化歴史博物館	駒澤大学禅文化歴史博物館紀要 第 8 号(令和 5・6 年度) 有形文化財(建造物)登録記念企画展 大正モダン 復興の図書館
埼玉県立川の博物館	埼玉県立川の博物館 紀要 25 号
埼玉県立歴史と民俗の博物館	大名と菩提所
坂の上の雲ミュージアム	坂の上の雲ミュージアム通信 小日本 第 48 号 坂の上の雲ミュージアム通信 小日本 第 49 号
佐倉市魅力推進部文化課文化財 係	令和 5 年度 佐倉市埋蔵文化財発掘調査報告書 千葉県佐倉市 佐倉城跡(三ノ丸第 1 次・2 次)発掘調査報告書
佐倉市立美術館	深沢幸雄展 彫版に依って歌う詩人
幸手市郷土資料館	幸手の宝もの 市指定文化財大集合!!
里見氏研究会	里見氏研究 第 4 号
寒川文書館	寒川町史研究 第 36 号 2025
(株)島田組	港区近世都市江戸関連遺跡発掘調査報告 104 [TM152] 筑前秋月藩黒田家屋敷跡遺跡発掘調査報告書Ⅲ
(株)四門文化財	港区内近世都市江戸関連遺跡発掘調査報告 106 [TM62-4] 品川台場(第 5)遺跡発掘調査報告書 ー(仮称)港南 5 丁目 PJ 新築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査ー 千葉県習志野市 向原南遺跡第 1 地点埋蔵文化財発掘調査報告書
淑徳大学アーカイブス	メッセージの歴史 ー広報誌にみる学園・大学の歴史ー
首都圏形成史研究会	年報 首都圏史研究 第 14 号
城西国際大学水田美術館	高森碎巖 ー長南に生まれた最後の南画家ー
白井市郷土史の会	たいわ ー語り伝える白井の歴史ー No. 40
白井市郷土資料館	小金牧と白井
すみだ郷土文化資料館	すみだ文化郷土資料館 年報 第 11 号 令和 6 年度 すみだ文化郷土資料館 研究紀要 第 11 号 令和 6 年度 よみがえる名所 押上 最教寺の世界
袖ヶ浦市教育委員会	令和 5・6 年度 千葉県 袖ヶ浦市内遺跡発掘調査報告書 袖ヶ浦市埋蔵文化財発掘調査報告書第 36 集 千葉県袖ヶ浦市 大曾根台畑遺跡(5)

袖ヶ浦市教育委員会	袖ヶ浦市埋蔵文化財発掘調査報告書第 37 集 千葉県袖ヶ浦市 寺野台遺跡(9)
	袖ヶ浦市埋蔵文化財発掘調査報告書第 38 集 千葉県袖ヶ浦市 蔵波砦跡(4)
袖ヶ浦市郷土博物館	袖ヶ浦市史研究 第 22 号
	袖ヶ浦古墳大辞典 ～袖ヶ浦の古墳時代～
	村のくらしと一大事 江戸時代の事件記録を読む
(一社)鷹之台カンツリー倶楽部	会報「鷹之台」226 号
館山市立博物館	資生堂創業者 福原有信と館山
	東京湾要塞と館山
千葉県環境生活部 スポーツ・文化局文化振興課	千葉県誕生 150 周年 記念誌
	第 2 次 千葉県文化芸術推進基本計画 ～誰もが文化芸術に親しめる千葉～
千葉県教育振興財団	公益財団法人 千葉県教育振興財団 発掘調査報告書作成標準 発掘調査報告書 デジタル編集の手引き
	千葉県教育振興財団調査報告第 799 集 首都圏中央連絡自動車道埋蔵文化財調査報告書 48 －横芝光町吹揚遺跡・大山遺跡(1)・(2)・遠山天ノ作遺跡(3)・(4)－
	千葉県教育振興財団調査報告第 800 集 首都圏中央連絡自動車道埋蔵文化財調査報告書 49 －成田市大安場Ⅰ遺跡(3)～(7)・辰巳ヶ入遺跡(2)－
	千葉県教育振興財団調査報告第 801 集 首都圏中央連絡自動車道埋蔵文化財調査報告書 50 －多古町間倉遺跡－
	千葉県教育振興財団調査報告第 802 集 首都圏中央連絡自動車道埋蔵文化財調査報告書 51 －芝山町・横芝光町高谷川低地遺跡(1)～(9)－
	地中からのメッセージ -古墳・古代・中近世-
	研究連絡誌 第 91 号
	研究連絡誌 第 92 号
	千葉県教育振興財団 文化財センター年報 No. 50 -令和 6 年度-
	研究紀要 29 -50 周年記念論集-
	地中からのメッセージ -古墳・古代・中近世- 講演会発表要旨
千葉県教育庁教育振興部文化財課	千葉県教育委員会埋蔵文化財調査報告第 60 集 流山運動公園周辺地区埋蔵文化財調査報告書 12 -流山市市野谷中島遺跡(1)～(10)・(14)・(16)・(18)(旧石器時代編)-
	千葉県教育委員会埋蔵文化財調査報告第 59 集 八千代市白幡前遺跡 -八千代都市計画公園事業(9・6・1 号八千代広域公園)埋蔵文化財報告書-
	千葉県教育委員会埋蔵文化財調査報告第 61 集 流山運動公園周辺地区埋蔵文化財調査報告書 13
	千葉県文書館
千葉県文書館	千葉県の「昭和」 -激動の 1926～1989-
	収蔵文書目録第三十九集 諸家文書目録 13
	千葉県の文書館 第 31 号

千葉県立関宿城博物館	関宿城に舞う鷹の羽 ～下総久世家～
	千葉県立関宿城博物館 研究報告 第30号
千葉県立美術館	オランダ×千葉 撮る、物語る ―サラ・ファン・ライ&ダヴィット・ファン・デル・レーウ×清水裕貴
	没後50年 高島野十郎展
	鉄絵銅彩 神谷紀雄陶展 春風陶花
千葉県立房総のむら	千葉の民俗芸能 ―房総獅子舞祭― 解説書
	房総の海辺のムラ ―漁撈から見た人々のくらし―
千葉県立中央博物館	記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財 「房総のお浜降り習俗」記録映像解説書 ―勝浦の秋祭り・旧埴生郡の祇園・松澤熊野神社式年神幸祭―
	房総うみの幸大百科 ―千葉の豊かな海と食文化―
千葉市教育委員会	埋蔵文化財調査(市内遺跡)報告書 ―令和6年度― (千葉市)
	千葉市草刈場貝塚 ―倉庫建設に伴う埋蔵文化財調査報告書―
	特別史跡加曽利貝塚 環境整備事業報告書Ⅰ
(公財)千葉市教育振興財団	千葉市荒久遺跡(第5次) ―新千葉県立図書館等複合施設建設に伴う埋蔵文化財調査報告書―
	謎多き縄文晩期
千葉市立郷土博物館	千葉いまむかし 第38号
	研究紀要 第31号
	令和6年度 千葉市・千葉大学公開市民講座 講演録 千葉氏以前の「ちば」／千葉氏以後の「ちば」 ―考古学と近世史の成果から―
東京家政学院生活文化博物館	飯椀グランプリ あなたはどれが好き？
東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター	東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信 第106号
	東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信 第107号
	東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信 第108号
	東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信 第109号
東京都江戸東京博物館	東京都江戸東京博物館紀要 第16号
東京都三多摩公立博物館協議会	東京都三多摩公立博物館協議会会報 ミュージアム多摩 No. 47 特集 戦後80年・地域とあゆむ博物館
十日町市博物館	十日町市博物館 年報 第11号
	JAPANのルーツ 雪ふる縄文と世界遺産
	弥生のジュエリー
豊島区立郷土資料館	生活と文化 研究紀要 第34号
	新・豊島風土記
富里市教育委員会	令和6年度 富里市内遺跡発掘調査報告書 中ノ莖遺跡(第2次) 笠木山遺跡(第2次)
	富里市民俗文化財調査報告書第7集第2版 旧鈴木やゑ家発見の護符 ―天井裏に残された江戸時代からの信仰―
取手市埋蔵文化財センター	文化財に託されたおもい
	取手市埋蔵文化財センター第56回企画展 地域の遺跡シリーズ1 小文間地区の遺跡

流山市教育委員会	流山市埋蔵文化財調査報告 Vol. 72 令和 4 年度流山市市内遺跡発掘調査報告書
流山市立博物館	恩田家文書目録（3・完）
成田市教育委員会	令和 5 年度 成田市市内遺跡発掘調査報告書
	成田市史研究 第 49 号
	成田市の文化財 第 56 集
(公財)日本文化財保護協会	(公財)日本文化財保護協会 紀要 第 9 号
野田市郷土博物館	野田の浅間様 ―石に刻まれた富士山への祈り―
野田市郷土博物館・市民会館	野田市郷土博物館・市民会館 年報・紀要 第 17 号 2023 年度
野田市史編さん委員会	野田市史研究 第 35 号 2025
(株)パスコ 環境文化コンサル タント事業部	柏市埋蔵文化財調査報告書 118 柏市柏インター西土地区画整理事業 埋蔵文化財発掘調査報告書 8 ―出山遺跡（第 13・14 次）―
	柏市埋蔵文化財調査報告書 119 柏市柏インター西土地区画整理事業 埋蔵文化財発掘調査報告書 9 ―中山新田遺跡（第 15～21 次）―
花野会	花野会 会報 28 号 2024 年度
	花野会 会報 29 号 2025 年度
半田市立博物館	半田市立博物館 年報・紀要 令和 5 年度
平塚市博物館	平塚市博物館研究報告 自然と文化 第 48 号 2024 年度
	平塚市博物館年報 第 48 号 2024 年度
	平塚市博物館年報 第 49 号 2025 年度
	平塚市博物館史料叢書 2 相模国小田原藩士 井沢家文書 見聞雑書
ふじさんミュージアム	富士山御師のヒミツ
	富士吉田市歴史民俗博物館資料叢書 第 7 集
	菊田日記⑥ 第三十番～第三十三番
富津市教育委員会	日本寺千五百羅漢調査報告書
	鋸山石切場遺構調査事業報告書
	令和 4 年度 ―千葉県― 富津市内遺跡発掘調査報告書 造海城跡 他
	令和 5 年度 ―千葉県― 富津市内遺跡発掘調査報告書 向原遺跡 他
	令和 6 年度 ―千葉県― 富津市内遺跡発掘調査報告書 亀塚遺跡 他
	千葉県富津市 打越遺跡 2 確認調査報告書
	飛附遺跡 下谷遺跡
	打越遺跡 学校給食共同調理場整備事業に伴う埋蔵文化財調査報告書
船橋市遺跡調査会	千葉県船橋市 印内台遺跡群（6）
船橋市教育委員会生涯学習部文 化課埋蔵文化財調査事務所	令和 6 年度 船橋市内遺跡発掘調査報告書
	史跡取掛西貝塚 調査研究報告 1 ～植物遺体特集～
	平成 27・28 年度 船橋市市費単独事業遺跡発掘調査報告書
	千葉県船橋市 佐倉道南遺跡（9）
	千葉県船橋市 夏見台遺跡(79)
	千葉県船橋市 坂ノ上遺跡（1）
	千葉県船橋市 東中山台遺跡群(85)
船橋市郷土資料館	船橋のこどもたち
	令和 6 年度 船橋市郷土資料館年報
船橋市飛ノ台史跡公園博物館	縄文と弥生 ―船橋の縄文晩期と弥生時代―

船橋市飛ノ台史跡公園博物館	第23回縄文コンテナラリー展 in ふなばし 風土 縄文の造形と世界
	飛ノ台史跡公園博物館 紀要 第21号 2025.3
	飛ノ台史跡公園博物館 紀要 第22号 2025.3
松戸市立博物館	松戸市立博物館紀要 第32号
	松戸市立博物館年報 第32号 令和6年度(2024)
港区立郷土歴史館	港区立郷土歴史館 館報 -4- 令和4(2022)年度
	港区立郷土歴史館 館報 -5- 令和5(2023)年度
	港区立郷土歴史館 研究紀要3
(公財)宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団	伊豆沼・内沼研究報告 第19巻 2025
明治大学学芸員養成課程	MUSEUM STUDY 36 明治大学学芸員養成課程紀要
	MUSEOLOGIST 40 明治大学学芸員養成課程年報
茂原市立美術館・郷土資料館	茂原市史調査報告書 第十集
	茂原市古文書目録集(その十二)と代表的史料
	茂原市史調査報告書 第十集(別冊) 『茂原市史資料編(原始・古代・中世考古)』補足資料2
横浜市歴史博物館	生誕百年 中田喜直展
	君も今日から考古学者!ー横浜発掘物語ー ガイドブック 弥生人に質問だ!
	君も今日から考古学者!ー横浜発掘物語ー ワークブック 冒険の記録
	ペリー横浜上陸170年 サムライ Meets ペリー With 黒船 海を守った武士たち
	寶林寺 東輝庵展 横浜の禅ー近世禅林のルーツ
	横浜の文化財 まもり伝える地域の記録 Part1 修復
	横浜の文化財 まもり伝える地域の記録 Part2 伝承
吉川弘文館	日本歴史 第924号 2025年5月
四街道市教育委員会	令和5年度四街道市内遺跡発掘調査報告書
立教大学 学校・社会教育課程学芸員講座	MOUSEION ムゼイオン 立教大学博物館研究 第68号
	MOUSEION ムゼイオン 立教大学博物館研究 第69号
和洋女子大学文化資料館	国府台 和洋女子大学文化資料館・博物館学課程 報告 28・29号
八千代市教育委員会	千葉県八千代市 市内遺跡発掘調査報告書 令和6年度
	千葉県八千代市 白幡前遺跡n地点
	第13回千葉県北西部地区文化財発表会 けんかしないで!ー地域に残る争いの記憶ー
八千代市教育委員会指導課	令和7年度 読書感想文 第55集 やちよ
八千代市経済環境部環境政策課	令和7年版(令和6年度実績) 八千代市の環境
個人	第8回千葉県北西部地区文化財発表会 文化の絆ーモノとヒトの出会いー (要旨)
	船橋市西図書館所蔵資料 資料解説 地図編
	船橋市西図書館所蔵資料目録 改訂版
	(財)印旛郡市文化財センター発掘調査報告書第69集 千葉県印旛郡印西町 駒形北遺跡発掘調査報告書

個人	史談八千代 第 15 号 八千代の歴史散歩道(1)
	史談八千代 第 16 号 勝田の獅子舞
	史談八千代 第 17 号 八千代の歴史散歩道(2)
	史談八千代 第 41 号 旧麦丸村の総合研究
	調べてみよう！船橋 調べ方の手引き
	走れ！しずてつ
	十返舎一九と薦屋重三郎
	昭和 59 年度 改訂 中学理科 第 1 分野 上
	昭和 59 年度 改訂 中学理科 第 1 分野 下
	昭和 59 年度 改訂 中学理科 第 2 分野 上
	昭和 59 年度 改訂 中学理科 第 2 分野 下
	学生版 牧野 日本植物圖鑑
	新改訂学生版 牧野 日本植物圖鑑
	雑草たちの生きる世界
	新版 千葉県植物ハンドブック
	昭和二十年一月～十二月 高等女学校生徒の絵日記を読む ～木更津 高等女学校生徒日記「昭和二十年を顧みて」の翻刻と教材化～
	玉里村の歴史 ー豊かな霞ヶ浦と大地に生きるー
	石器のいろは ～収蔵資料の紹介～
	横穴墓
	板碑 立正大学の板碑研究
	立正の考古学
	瓦塔と瓦堂
	立正大学博物館年報 22 令和 6(2024)年度 抜刷 IV. 利活用報告
	立正大学博物館 15 年のあゆみ
	東国の埴輪と埴輪窯 (立正大学博物館)
	砂漠に生きる ー化石と石と砂ー (立正大学博物館)
	立正生の学び舎 ー熊谷キャンパスの半世紀ー
	日本の万国博覧会 1970ー2005
	房総出土の古代の玉
	常陸のはにわ ー埴輪が語る古墳時代の常陸ー
	古代のみち ー常陸を通る東海道駅路ー
	古墳文化の終焉 ーしもつけにおける 7 世紀の墳墓と集落ー
	律令国家の地方官衙 ー古代の役所Ⅱー
	律令国家の誕生と下野國 ー変革の 7 世紀社会ー
	終末期古墳と官衙の成立 ー下野国河内郡の様相を中心としてー
	ムラから見た奈良・平安時代 ー寺や役所が立ち並ぶなかでー
	文字・鉄・仏教 ー富士見の“古代化”ー
	遺跡から見る奈良・平安時代のさいたま ー大久保領家遺跡と氷川神社東遺跡ー
	古代入間郡の役所と道
	真金吹く陸奥の行方
	いのりとまじないの世界 駿河～北伊豆の律令時代を中心とした官

個人	衙・寺院・古墳の様相
	古代地方木簡の世紀 ―文字資料から見た古代の近江―
	日本古代社会生活史の研究
	印旛沼のほとりより 歴史・民俗・信仰についてのフィールドノート
	八千代市域の石造文化財調査カード 2024 年 小池の庚申塔
	八千代市内の有刻板碑集成 一覧表及び拓影と翻刻集 増補改訂版

2 調査・研究

八千代市内に継承されている民俗行事等について、聞き取り・映像記録の撮影などによる調査を行った（下表）。他に、11月26日に勝田の屋号・地名の読み方などについて聞き取り調査を行った。

調査日	行事名	概要
4月6日（日）	正覚院 花祭り	釈迦の誕生を祝う灌仏会にあわせて、千葉県指定文化財の釈迦如来立像が開帳された。
9月1日（月）	七百餘所神社の頭上げ	獅子頭を祀り、嵐除けを祈願する。
9月7日（日）	勝田の獅子舞 市指定無形民俗文化財	水伏と五穀豊穡を祈願し、勝田円福寺と駒形神社で行われる舞。
9月23日（火・祝）	佐山の獅子舞 市指定無形民俗文化財	午前中は熱田神社で、午後は妙福寺で、それぞれ舞が奉納された。
10月9日（木）	村上の神楽 市指定無形民俗文化財	七百餘所神社で行われた（例祭）。
1月15日（木）	村上の神楽 市指定無形民俗文化財	七百餘所神社で湯立ての神事と神楽が行われた。
1月20日（火）	高津のハツカビシャ 市指定無形民俗文化財	高津比咩神社で、神事と弓射とオトウケトリが行われた。
1月31日（土）	下高野のワラヘビ作り	下高野地区で、ワラヘビ作りが行われた。
2月5日（木）	市内ワラヘビ調査	下市場・村上下町・台町のワラヘビ設置状況を調査。一部聞き取りを実施。
2月11日（水・祝）	高津新田のカラスビシャ 市指定無形民俗文化財	諏訪神社にて神事と弓射が行われ、オトウワタシ（H29年から愛宕神社と統一）が行われた。
2月14日（土）	村上台町のワラヘビ作り	台町稻荷神社で、ワラヘビ作りが行われた。
10月6日（月） 11月2日（日）	米本浅間講例祭	米本浅間神社の境内で富士講の行者によって十五夜祭、十三夜祭などの例祭が行われた。
3月26日（木）	大和田新田上区子安講	博物館にて、子安講・富士講その他について聞き取りを行った。

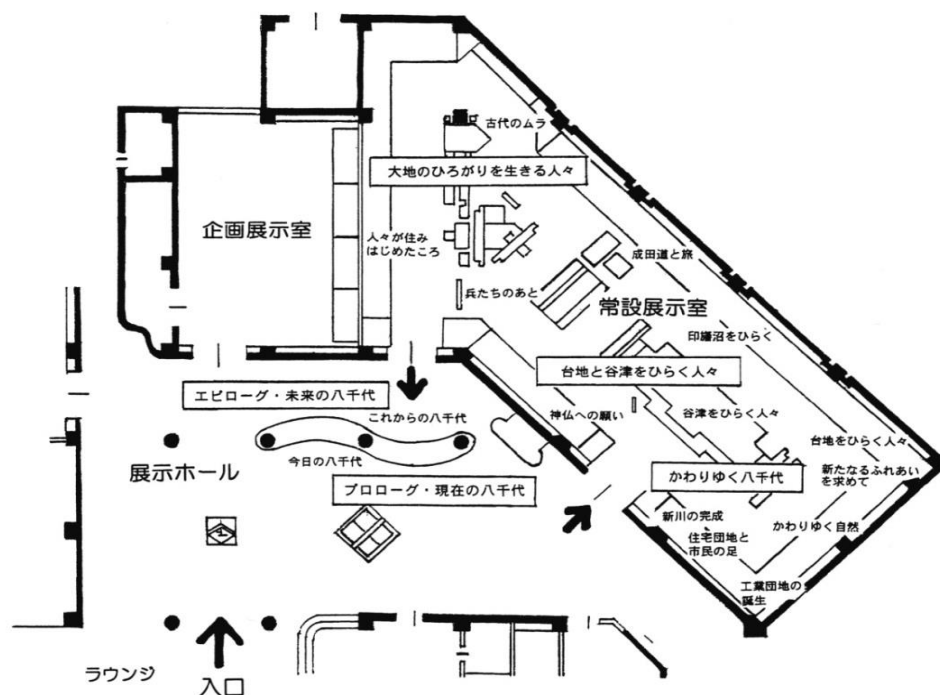


佐山の獅子舞



下高野のワラヘビ

3 展示



(1) 常設展示

新川流域を中心とした八千代市の自然・歴史・文化・産業に関して、多くの実物資料・標本・複製等を展示し、私たちが暮らす八千代の姿の一層の理解を図る。

開館以来 30 年以上が経過し、展示構成の基本、そしてそれに基づく展示資料、展示手法などに関して、今日の市民の方々の意識・感性から乖離することから、「展示離れ」の傾向が見られるため、展示更新の実施が求められている。

このため、例年新たな展示パネルへの更新、野外展示の石造物への解説板製作等を行ってきたが、令和 7 年度は常設展に、村上 1 号墳及び旧石器時代の解説パネルを追加した。また、ロビー展示に市内で使用されていたコンクリート製のごみ箱を追加した。

(2) 企画展示

新たな情報を提供し再度の来館に応えるため、7 年度は 1 回実施した。

企画展

「病をのりこえて 死とまじないと八千代のひとびと」

期 間：令和 7 年 7 月 19 日(土)～10 月 13 日(月・祝)

開館日数：76 日

入館者数：3,036 人

新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが 5 類に移行したことで、様々な制限が緩和され、これまでの日常が戻りつつある。一方で、コロナウイルスなどの感染症の危険は、今後も我々につきまとい続ける。企画展では、コロナウイルスの流行を踏まえ、過去に人々を襲った病気や、病に関する信仰や行事に関わる資料を展示し、“コロナ後”の世界をどう生きていくのか、考えるきっかけを提供した。



「病をのりこえて」展示風景

(3) 特別展示

① 「くらしのうつりかわり展～変わる暮らしと団地の誕生～」

期 間：令和7年12月13日（土）～令和8年2月15日（日）

開館日数：47日

入館者数：1,938人

小学校3年生の学習単元「くらしのうつりかわり」に対応できるように、昭和30年代～40年代の生活道具を中心に、当時のくらしのイメージがつかめるよう衣・食・住に分けて展示した。今回は、展示の中心となる昭和30年代に、八千代市に大きな変化をもたらすきっかけとなった八千代台団地の建設について展示を行った。また、令和7年が昭和100年に当たることから、八千代市の昭和100年年表の展示も行った。



「くらしのうつりかわり展」展示風景

(4) ロビー展示

① 季節展示

調査から得られた情報や写真等を活用し、市内年中行事を紹介した。

4月 花祭り 5月 端午の節句 6月 時の記念日 7月 七夕
8月 盆行事 9月 獅子舞 10月 神楽 11月 七五三 12月 正月
1月 正月・オビシャ 2月 オビシャ・雛祭り 3月 ツジギリ・雛祭り

② 企画展開連「アマビエやっちで病除け!」「読みとく! 病気の治し方」

企画展に関連して、コロナ禍に市が作成した「アマビエやっち」の塗り絵を通して、病除けの祈りを体験していただいた。また、民間医療に関わる資料の展示を、博物館実習生が製作した。

③ミニ展示

「やち博コレクション」

博物館で日常的に実施している資料収集とそれに伴う調査・研究・修補などの活動を、速報的・簡易的に展示する。7年度は4回開催した。

第1回 昭和30～40年代のごみ箱

期 間：令和6年度から継続～8月5日（火）

展示内容：昭和30～40年代に使用された、コンクリート製ごみ箱を展示した。展示期間終了後は、館内の「むかしのくらし」の再現コーナーにて、常設展示した。

第2回 市内出土の旧石器時代の石斧

期 間：8月13日（水）～9月4日（木）

展示内容：市内で出土した、旧石器時代の局部磨製石斧を展示した。

第3回 下総国印旛沼御普請堀割絵図

期 間：9月4日（木）～令和8年3月6日（金）

展示内容：市指定文化財である、「下総国印旛沼御普請堀割絵図」の高精細画像をパソコン上で展示し、来館者が自由に閲覧できるようにした。10月15日からは、展示内容を拡充し、絵図の成立背景などを併せて展示した。

第4回 新指定文化財

期 間：1月14日（水）～令和8年3月6日（金）

展示内容：令和7年度12月に、新たに八千代市指定文化財に登録された、妙法蓮華経納置塔と青銅製華瓶、及びその関連資料を展示した。

④同好会連携展示

a) 竹細工作品展

期 間：令和8年3月3日（火）～15日（日）

入館者数：208人

「竹細工同好会」会員の作品の展示に加え、アンケート及び一部の作品の配布を行い「竹細工」の普及を図った。

b) 篆刻作品展

期 間：令和8年3月11日（水）～19日（木）

入館者数：140人

「篆刻同好会」の会員が製作した印章、印影などを展示した。

c) 土器づくり作品展

期 間：令和7年9月28日（日）～10月11日（土）

入館者数：499人

子ども体験教室「土器づくり」の

参加者の作品と土器づくり同行会会員の作品を展示した。

⑤ぬりえコーナー

来館者に楽しんでもいただけるように、「やっち」の絵のぬりえを用意し、その作品を展示した。

4 学校連携

(1) 小中学校対応

市立の博物館として、学校教育支援の役割は大きく、小学校に出向く出前授業を中心に、見学対応等の様々な事業を行った。

小学校においては、学校授業の進度に応じた出前授業や博物館見学の機会を利用し、3年生は「来館見学」や「昔の道具体験」など、4年生は「郷土の歴史」や「年中行事」など、5年生は「脱穀体験」を博物館所蔵の資料の紹介を通して、学習が深められるように工夫して行っている。

依頼件数は昨年度よりも減少したが、これは教員の在籍がなく、対応件数を減らさざるを得なかったためである。昨年度同様、市外からの依頼もあった。今後は、学校の要望にできるだけ柔軟に対応していくことが課題である。

令和7年度学校利用合計

32件 2,211人

月	件数	参加者数（延べ人数）
4月	0	0人
5月	3	159人
6月	4	276人
7月	2	43人
8月	0	0人
9月	1	92人
10月	4	128人
11月	5	303人
12月	0	0人
1月	3	361人
2月	9	784人
3月	1	65人
合計	32	2211人
内訳	職場体験	11人
	来館見学	560人
	出前授業	1640人



来館見学「市のうつりかわり」



出前授業「昔の道具体験」

(2) 博物館実習受入

期 日 7月29日（火）～8月8日（金）

参 加 者 3大学4名

主な内容 古文書・民俗資料整理、展示の作成、来館対応

今年度は、職員の不足などの理由で中断していた博物館実習を再開し、10日間の日程で4名の実習生を受け入れた。過去の実習の内容を踏襲しつつも、企画展に関連した展示の作成などの新たな取り組みを実施した。



博物館実習 講義風景



博物館実習 実技風景

5 市民学習の支援

(1) 企画展関連事業

各企画展の開催にあわせ、企画展の趣旨、内容等の理解を深めていただくために、多くの世代に親しめる行事を開催した。

事業名		講師	開催日	参加者
企画展	展示解説会	館職員	7月27日(日) 8月31日(日) 9月21日(日)	24人



企画展展示解説

(2) やちよの民俗行事

注連縄作り等の藁細工を製作している下高野地区在住の方を指導者にお招きし、地域に伝えられている厄災除けのツジギリ的一种であるワラヘビを作る講座を開催した。

期 日：令和7年11月23日(日・祝)

講 師：下高野地区 立石輝雄氏

参加者：22人



厄除けのワラヘビづくり

(3) 古文書講座

八千代市内に伝わる古文書を通して、八千代の歴史に親しむ機会を設けることを目的としている。館職員を講師とし、入門・初級・中級の3段階の講座を設定している

事業名		講師	開催日	参加者
古文書講座	入門編(くずし字)(全2回)	館職員	10月5日(日)・19日(日)	55人
	初級編(全2回)		11月16日(日)・12月14日(日)	85人
	中級編(全1回)		1月25日(日)	27人

(4) やち博講座

館職員を中心とした講師により、郷土の歴史や文化について様々な角度から触れることで、八千代への理解を深めていただくことを趣旨に開講している。

	演 題	講師	開催日	参加者
1	「やちよの板碑と中世の歴史」	常松 成人	6月29日(日)	40人
2	「一病息災 ～病を恐れ、病と生きる～」	吉田 赳	8月24日(日)	34人
3	「『石』から見る八千代市の古墳時代」	宮下 聡史	11月30日(日)	34人
4	「江戸時代の村のもめ事」	野中 政博	2月15日(日)	44人



第1回やち博講座

(5) 博物館上映会

「おしどり家計簿と市政映画」

昭和 35 年制作の「おしどり家計簿」と昭和 45 年制作の市政映画「やちよ」を上映した。本年度の焦点として、2 本の映画が作られた当時の時代背景を通して、昭和 29 年の町制施行以後、都市化が進む八千代市の様子について詳しく説明した。

期日：令和 8 年 1 月 18 日(日) 参加者 20 人

(6) 観察会

協力いただいた講師や館職員と共に、八千代市内を巡り、市域の自然や文化財に触れ、学ぶことを目的に開催している。

事業名	講師	開催日	会場	参加者
自然観察会	稲田 晃氏 (八千代市文化財審議会委員)	3 月 14 日 (土)	桑納地区	16 人
文化財散歩	館職員	5 月 18 日 (日)	村上地区	27 人
	館職員	1 月 12 日 (月・祝)	高津地区	21 人



自然観察会（桑納地区）



文化財散歩（村上地区）

(7) 体験講座

外部の専門家や同好会等の会員等が指導者となり、各体験講座を毎年開催している。

事業名	講師	開催日	参加者
篆刻講座 (全 2 回・1 課程)	篆刻同好会	6 月 7 日 (土) 6 月 8 日 (日)	14 人
植物標本づくり講座 (全 2 回・1 課程)	花野会	7 月 19 日 (土) 8 月 17 日 (日)	29 人 31 人
竹細工講座	竹細工同好会	12 月 7 日 (日)	21 人

(8) 子ども講座

事業名	講師	開催日	参加者
昔遊び体験 (けん玉・竹ポックリ)	館職員	5 月 3 日(土・祝)～6 日(火・振)	115 人
子ども体験教室	館職員	8 月 2 日(土)・9 月 28 日(日) 10 月 12 日(日)・2 月 8 日(日) ※2 月 8 日の子ども体験教室は、衆議院議員選挙により中止。	59 人
博物館シアター	語りの会やちよ	7 月 27 日 (日)	30 人
竹と遊ぼう	竹細工同好会	3 月 7 日(土)	27 人

①昔遊び体験

コマや竹馬、お手玉やメンコ等の昔からある遊びの体験

②子ども体験教室

「竹細工づくり体験」,「土器づくり体験」,「昔の道具体験」

③博物館シアター

夏休み期間中に,「語りの会やちよ」による昔話・紙芝居の上演

④竹と遊ぼう

「竹細工同好会」による,竹を使った手作りのおもちゃの製作体験



子ども体験教室(竹細工づくり体験)



子ども体験教室(土器づくり体験)

(9)地域における子どもたちの学習支援

学校だけでなく,八千代市内の学童保育所・社会教育団体での子どもたちへの博物館的学習支援を行っている。

令和7年度学習支援利用合計 14件 705人

実施日	団体名	内容	参加者
7月23日(水)	八千代台東学童	勾玉作り	78人
7月24日(木)	八千代台東学童	勾玉作り	59人
7月25日(金)	大和田学童保育所	火起こし	69人
8月16日(土)	船橋市海神公民館	紙飛行機体験	14人
8月20日(水)	阿蘇・米本学園学童	勾玉作りなど	35人
8月21日(木)	阿蘇・米本学園学童	勾玉作りなど	34人
8月22日(金)	八千代台西学童	紙飛行機・昔遊び	53人
8月22日(金)	緑が丘公民館	勾玉作り	12人
8月29日(金)	勝田台南学童	勾玉作り・昔遊び	67人
9月28日(日)	ボーイスカウト八千代第5団ビーバー隊	火起こし	49人
9月30日(火)	文化・スポーツ課 文化財班	土器作り	19人
10月2日(木)	文化・スポーツ課 文化財班	土器作り	21人
11月22日(土)	北東自治会 ふれあいフェスタ	昔遊び	131人
3月17日(火)	勝田台南学童	紙飛行機体験	64人

(10)同好会の育成・連携事業

博物館の体験講座で得た知識や技術をより深めるために同好会が結成され,竹細工同好会,八千代土器づくり同好会,篆刻同好会,古文書同好会の4団体がある。当館はその活動を支援するため,定期的な活動の場を提供するとともに,以下の事業に協力いただいている。

竹細工同好会:竹細工講座(体験講座),竹細工づくり体験・竹と遊ぼう(子ども講座),竹細工作品展

八千代土器づくり同好会:土器づくり体験(子ども講座),土器づくり作品展

八篆会(八千代篆刻同好会):篆刻講座(体験講座),篆刻作品展

古文書同好会:館蔵古文書の整理(現在は「尾崎区有文書」の基礎整理)

(11) 講師派遣

各種市民団体・公民館・図書館等講師

18件

390人

	期日	内容：テーマ	団体	参加者	会場
1	4月4日(金)	八千代市の歴史	八千代市	50人	八千代市役所
2	4月8日(火)	江戸時代の人々の学び	女性の日記から学ぶ会	17人	男女共同参画センター
3	5月29日(木)	文化財散歩	高津公民館	15人	高津公民館
4	6月24日(火)	八千代市の団地	八千代台図書館・公民館	25人	八千代台公民館
5	6月26日(木)	文化財散歩	高津公民館	11人	高津公民館
6	9月15日(月)	企画展解説講座	八千代栗谷遺跡研究会	15人	郷土博物館
7	10月1日(水)	市内の祭りとお祭りの祈り	生涯学習課	17人	生涯学習プラザ
8	10月15日(水)	江戸・明治の人々の学び	生涯学習課	19人	生涯学習プラザ
9	10月29日(水)	文化財散歩	阿蘇公民館	16人	阿蘇公民館
10	11月18日(火)	大和田村絵図を見る	大和田公民館	15人	大和田公民館
11	12月7日(土)	貝運ぶ人々	TRC 八千代中央図書館	20人	中央図書館
12	12月16日(火)	大和田村絵図を見る	大和田公民館	14人	大和田公民館
13	12月18日(木)	現代社会で働くこと	千葉大学	46人	千葉大学
14	1月17日(土)	古文書講座	生涯学習振興課	21人	生涯学習プラザ
15	1月24日(土)	古文書講座	生涯学習振興課	24人	生涯学習プラザ
16	1月31日(土)	古文書講座	生涯学習振興課	21人	生涯学習プラザ
17	2月3日(火)	成田街道いまむかし	勝田台公民館	26人	勝田台公民館
18	3月8日(日)	古代社会の生活史	TRC 八千代中央図書館	18人	中央図書館

(12) 学習室等の施設利用

学習室・工作室、及び図書資料室等の博物館施設を、博物館事業での利用がない日には、地域の団体等が行う研究会や集会、市民の学習活動等様々な活動に提供した。

稼働日数 202日/304日 66.48%

稼働件数 256件 3,136人

学習室・図書資料室利用状況推移表

年度	開館日数	利用日数	利用日数/開館日数	図書資料室利用者数
令和2年度	252	131	51.98%	27人
令和3年度	305	195	61.02%	56人
令和4年度	305	182	59.67%	46人
令和5年度	305	205	67.21%	52人
令和6年度	303	203	67.00%	91人
令和7年度	304	202	66.48%	59人

(13) 刊行物の作成・配布

令和6年度事業の概要及び人事等の基礎的資料を中心に掲載した館報No.31を作成し、市役所内の関係各機関・八千代市内の小中高校・県内の主要博物館等に案内し、博物館事業を公開するとともに、博物館活動の普及をあわせて行った。

また、例年、各企画展示、「くらしのうつりかわり展」、季節展示の、数ページ程度で簡易な印刷・コピーの展示解説書を作成し、利用者に配布し展示の理解を深めていただけている。

6 地域協働

地域における様々な組織・機関との連携により、効果的な博物館事業の充実を図った。

(1) 博学連携

『「伝統装束体験」の開催』

東京成徳大学との連携により、所有している資料などをご提供いただき、当館事業の充実化を図っている。

事業名	講師	開催日	参加者
伝統装束体験	東京成徳大学 青柳 隆志氏 学生・卒業生	令和8年2月7日(土) ※衆議院議員選挙により中止。	—

『八千代市立郷土博物館古文書デジタルアーカイブ協働プロジェクト (YDAP)』

千葉英和高校、及び市内団体との連携により、所蔵している古文書類をデータ化し、館蔵資料のデジタル化を行っている。

事業名	協力	開催日	参加者
古文書デジタル化	千葉英和高等学校 石井 昭浩氏 千葉英和高校生徒・卒業生 八千代市郷土歴史研究会	作業実施日 9月30日(火)、10月26日(日)、11月22日(土)、12月24日(水)、令和8年1月20日(火)、1月31日(土)、2月3日(火)、3月8日(日) 運営委員会開催日 9月14日(日)、12月6日(土)、令和8年3月15日(日)	計85名

(2) 関係機関との連携

「牛乳パックで野球帽を作ろう」講座の実施

市内に工場を置くコーシン乳業株式会社・睦公民館と連携し、牛乳パックを使った工作の講座を実施した。

事業名	講師	開催日	参加者
牛乳パックで野球帽を作ろう	コーシン乳業株式会社	令和7年8月9日(土)	28人

7 広報

市役所のホームページ内の一部として、情報発信を継続してゆく。

8 博物館協議会

第1回博物館協議会

期日：令和8年1月20日(火)

内容：1 令和6年度事業報告

2 令和7年度事業中間報告

3 令和8年度事業計画案

4 令和7年度特別展示視察

9 令和7年度のまとめ（自己評価）

令和7年度は、団体利用者を含む年間利用者数が、前年度を下回る結果となったが、地域の各分野に係る資料収集や、主に虫害に対する保存対策、収蔵庫や展示室の温湿度管理、古文書等の修補、収蔵システムへの登録作業等、博物館業務の基本的事項については、昨年度同様、例年通り行うことができた。

常設展示に関しては、村上1号墳及び旧石器時代のパネルを追加した。また、前年度にやち博コレクションとして展示したコンクリート製のごみ箱を、ロビーの常設展示とした。今後も適切な資料の追加などを検討していきたい。

企画展示は、市域の「病」をテーマに古代の病から現代のコロナ禍にいたるまでの幅広い資料を展示した。特別展示は、「くらしのうつりかわり展」を実施し、住宅団地の誕生と変遷について取り上げた。この「くらしのうつりかわり展」では、「変わるくらしと団地の誕生」をサブタイトルとして、小学校3年生の学習单元「くらしのうつりかわり」に対応できるように、昭和30年代～40年代の生活道具を中心に、当時のくらしのイメージをつかめるよう衣・食・住に分けて展示した。今後も魅力あるテーマを探求し、紹介できるよう努めたい。

子どもから成人に向けた講演会、体験講座、現地見学等の市民学習の支援は、安全対策を講じて事業運営に努めた。毎年楽しみにしている市民の方々もいるので、参加者の意見やアンケートなどを参考にしながら今後も改善をしていきたい。

学校教育への支援・連携は、学校職の職員の在籍がなくなったために、学校側の要望に柔軟に対応することが難しく、学校対応の件数を減らさざるを得ない状況であったが、博物館実習を令和3年度以来4年ぶりに実施した。一方で、学校だけでなく八千代市内の学童保育所や社会教育団体での子どもたちへの博物館的学習支援も行っているが、こちらは依頼件数が伸びた。また、学童によっては、1件当たりの人数が多い時もあるので、対応が難しいと感じることもあった。今後も博学連携の視点から努力していきたい。

各種市民団体・公民館等に講師として依頼される件数は昨年度とあまりかわらないが、引き続き依頼があれば、内容やテーマに沿って支援していきたい。

令和5年度に改正された博物館法には、他の博物館との連携、地域の多様な主体との連携・協力による文化観光など地域の活力の向上への寄与が努力義務化されている。本館はそのことを意識し、博物館の使命や改正博物館法などを根拠に、館運営事業のあり方を今後も検討していきたい。

【統計資料・関連条例等】

1 博物館入館者数の推移

年 度	開館日	利用者数	うち団体利用者	備 考
平成 23 年度	2 9 2	1 6, 1 6 5	1 1, 2 9 3	
平成 24 年度	2 9 9	1 8, 4 0 7	1 2, 9 6 3	
平成 25 年度	3 0 3	2 8, 7 3 3	2 0, 2 5 7	
平成 26 年度	3 0 4	2 7, 7 5 8	1 9, 7 3 7	
平成 27 年度	3 0 6	2 9, 2 9 0	2 0, 1 9 5	
平成 28 年度	3 0 5	2 3, 0 9 7	1 6, 3 0 7	
平成 29 年度	3 0 4	2 5, 1 4 1	1 5, 6 7 0	
平成 30 年度	3 0 4	2 4, 1 5 8	1 4, 5 5 1	
令和元年度	2 7 8	2 1, 5 9 9	1 3, 3 5 5	
令和 2 年度	2 5 2	1 3, 5 9 9	8, 8 0 2	
令和 3 年度	3 0 5	1 7, 0 8 4	1 0, 8 2 0	
令和 4 年度	3 0 5	1 3, 7 6 0	7, 9 1 6	
令和 5 年度	3 0 5	1 2, 2 3 4	6, 6 3 4	
令和 6 年度	3 0 3	1 2, 8 3 0	7, 3 1 3	
令和 7 年度	3 0 4	1 0, 8 9 9	5, 7 0 9	

2 令和 7 年度 団体・個人別入館者数

	開館 日数(日)	大人			子ども			月合計 (人)
		個人(人)	団体(人)	計	個人(人)	団体(人)	計	
4 月	26	223	364	587	25	19	44	631
5 月	27	374	214	588	117	153	270	858
6 月	25	293	217	510	37	264	301	811
7 月	27	369	239	608	110	236	346	954
8 月	27	536	175	711	156	224	380	1,091
9 月	25	378	264	642	59	144	203	845
10 月	27	342	404	746	43	136	179	925
11 月	26	339	268	607	32	361	393	1,000
12 月	21	213	192	405	23	10	33	438
1 月	23	307	249	556	29	362	391	947
2 月	24	361	211	572	42	727	769	1,341
3 月	26	694	160	854	88	116	204	1,058
総計(人)	304	4,429	2,957	7,386	761	2,752	3,513	10,899
割合(%)	—	41%	27%	68%	7%	25%	32%	—

3 令和7年度 博物館利用者アンケート集計結果

(回答者 32 人)

住所	
市内	20
県内	11
県外	1
国外	0
未記入	0

来館目的 (複数回答あり)

常設展	25
企画展	7
講演会	0
学習室	1
図書室	1
その他	4
未記入	1

年齢	
就学前	0
小学生	7
中学生	2
10代	1
20代	1
30代	3
40代	2
50代	5
60代	6
70代以上	5
未記入	0

来館回数

初	18
2～10	12
11～	1
未記入	1

知る方法 (複数回答あり)

広報	2
HP	3
ポスター等	4
新聞	0
以前から	13
その他	10
未記入	0

主なご意見・ご要望 (原文のとおり)

*アクセス(道から)がわかりずらかったです。短時間でも楽しめる博物館。八千代市のことがいろいろ勉強になりました。(60年近く住んでますが、知らないことも知ることができました。)[市内 50代]

*興味深いものがたくさんありました。女子トイレ(洋式)せますぎです。[船橋市 60代]

*どれも良かったです。[佐倉市 60代]

*誰もが気楽に入れる。[市内 70代以上]

希望される企画(原文のとおり)

*八千代市で見られる鳥のバードウォッチング会[市内 小学生]

*もけいをたくさんつくってほしい[佐倉市 30代]

*八福神めぐり[市内 70代]

*有史以前(石器～古墳)の市内及周辺の遺跡の解説[習志野市 70代以上]

*はにわ・自然[市内 小学生]

*昔から今の人々の暮らし[市内 小学生]

*縄文時代[船橋市 60代]

*寺や神社など[市内 30代]

*成田山関連[市内 50代]

4 令和7年度 企画展アンケート集計結果

(比率は小数点以下を四捨五入した値)

企画展名		企画展 「病をのりこえて 死とまじないと 八千代のひとびと」		「くらしのうつりかわり展 ～変わるくらしと 団地の誕生～」	
開催日数		76 日		47 日	
回答者数		113 人		42 人	
		人数 (人)	比率 (%)	人数 (人)	比率 (%)
住所	市内	57	50	26	62
	県内	43	38	12	29
	県外	11	10	2	5
	海外	0	0	1	2
	未記入	2	2	1	2
年齢	就学前	2	2	0	0
	小学生	28	25	3	7
	中学生	3	3	0	0
	10 代	1	1	2	5
	20 代	16	14	5	12
	30 代	7	6	3	7
	40 代	11	10	4	10
	50 代	21	19	8	19
	60 代	13	12	10	24
	70 代以上	10	9	7	17
	未記入	1	1	0	0
来館回数	初めて	48	42	9	21
	2 回目	12	11	9	21
	3 回目	7	6	3	7
	4 回目以上	44	39	21	50
	未記入	2	2	0	0
前回来館	1～2 年前	33	29	19	45
	3～4 年前	18	16	7	17
	5 年以上前	4	4	2	5
	その他	7	6	4	10
	未記入	51	45	10	24
周知	知っていた	70	62	30	71
	知らなかった	41	36	12	29
	未記入	2	2	0	0
周知媒体 複数回答	新聞	8	7	0	0
	雑誌	1	1	0	0
	テレビ	0	0	0	0
	ラジオ	0	0	0	0
	ポスター	20	17	4	9
	チラシ	9	7	12	27
	インターネット	14	12	7	16
	行事案内	1	1	0	0
	広報やちよ	5	4	3	7
	以前来館	6	5	4	9

	先生・知人	9	7	2	4
	その他	9	7	2	4
	未記入	39	32	11	24
テーマ	とても良い	68	60	23	55
	良い	39	35	19	45
	普通	3	3	0	0
	つまらない	0	0	0	0
	とてもつまらない	1	1	0	0
	未記入	2	2	0	0
難易度	難しすぎる	2	2	0	0
	難しい	12	11	0	0
	ちょうど良い	90	80	37	88
	やさしい	7	6	5	12
	やさしすぎる	0	0	0	0
	未記入	2	2	0	0
感想	非常に満足	37	33	13	31
	満足	68	60	27	64
	普通	3	3	2	5
	不満	0	0	0	0
	非常に不満	0	0	0	0
	未記入	5	4	0	0
紹介	したい	89	79	37	88
	しない	17	15	5	12
	未記入	7	6	0	0
照明	明るすぎる	1	1	1	2
	暗すぎる	3	3	3	7
	ちょうど良い	102	90	38	90
	未記入	7	6	0	0
文字の大きさ	大きすぎる	1	1	0	0
	小さすぎる	13	12	3	7
	ちょうど良い	90	80	39	93
	未記入	9	8	0	0

5 条例・規則

○八千代市立郷土博物館の設置及び管理に関する条例

平成 12 年 3 月 24 日

条例第 6 号

(趣旨)

第 1 条 この条例は、八千代市立郷土博物館の設置及び管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第 2 条 市は、歴史、民俗、産業、自然科学等に関する資料(以下「博物館資料」という。)を調査研究し、収集し、保管し、及び展示して市民の利用に供するとともに、その教育、学術及び文化の発展に寄与するため、八千代市立郷土博物館(以下「博物館」という。)を設置する。

(名称及び位置)

第3条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
八千代市立郷土博物館	八千代市村上 1,170 番地 2

(事業)

第4条 博物館は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 実物、標本、模写、模型、文献、図表、写真、フィルム等の博物館資料を豊富に収集し、保管し、及び展示すること。
- (2) 博物館資料の利用に関し必要な説明、助言及び指導を行うこと。
- (3) 博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
- (4) 博物館資料に関する案内書、解説書、目録、図録、年報、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
- (5) 博物館資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を開催すること。
- (6) 他の博物館、美術館、文書館、図書館、学校及び学術又は文化に関する施設との相互協力に関すること。
- (7) その他博物館の目的を達成するために必要な事業

(職員)

第5条 博物館に館長その他必要な職員を置く。

(入館の制限)

第6条 八千代市教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、次の各号のいずれかに該当するときは、入館を禁止し、又は退館を命ずることができる。

- (1) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) 博物館の施設、展示品等をき損し、又は汚損するおそれのあるとき。
- (3) その他博物館の管理上支障があると認められるとき。

(損害の賠償)

第7条 博物館の施設、設備及び博物館資料に損害を与えた者は、その損害を賠償しなければならない。

(博物館協議会)

第8条 博物館法(昭和26年法律第285号)第23条第1項の規定により、博物館に八千代市立郷土博物館協議会(以下「博物館協議会」という。)を置く。

2 博物館協議会の委員(以下「委員」という。)は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、教育委員会が任命する。

3 委員の定数は、5人以内とする。

4 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 委員は、再任されることができる。

(令5条例10・一部改正)

(委任)

第9条 この条例に定めるもののほか、博物館の管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附則

(施行期日)

1 この条例は、平成12年4月1日から施行する。

(八千代市歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例の廃止)

2 八千代市歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例(平成5年八千代市条例第3号)は、廃止する。

附則(令和5年条例第10号)

この条例は、令和5年4月1日から施行する。

○八千代市立郷土博物館の設置及び管理に関する条例施行規則

平成12年3月28日

教委規則第1号

(趣旨)

第1条 この規則は、八千代市立郷土博物館の設置及び管理に関する条例(平成12年八千代市条例第6号。以下「条例」という。)第9条の規定により、八千代市立郷土博物館(以下「博物館」という。)の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 博物館の開館時間は、午前9時から午後4時30分までとする。ただし、八千代市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が特に必要があると認めるときは、開館時間を変更することができる。

(休館日)

第3条 博物館の休館日は、次に掲げるとおりとする。ただし、教育委員会が特に必要があると認めるときは、休館日を変更し、又は臨時に休館日を定めることができる。

(1) 月曜日(月曜日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日にあたるときは、その翌日以後の最初の休日でない日)

(2) 12月26日から翌年の1月4日までの日

(平24教委規則6・一部改正)

(職員の職及び職務)

第4条 条例第5条の規定により博物館に置かれる職員は、事務職員とし、その職及び職務は、次表のとおりとする。

職員	職	職務
事務職員	補佐	館長の職務を補佐する。
	副主幹	上司の命を受け、その担当事務を処理する。
	主査	上司の命を受け、その担当事務を処理する。
	主査補	上司の命を受け、事務に従事する。
	主任主事	上司の命を受け、事務に従事する。
	主任学芸員	上司の命を受け、博物館の専門的事務に従事する。
	主事	上司の命を受け、事務に従事する。
	学芸員	上司の命を受け、博物館の専門的事務に従事する。

(平13教委規則7・平18教委規則3・平20教委規則7・一部改正)

(禁止行為)

第5条 入館者は、次に掲げる行為をしてはならない。

(1) 博物館資料をき損し、又は汚損すること。

(2) 許可なく展示品を模写し、又は撮影すること。

(3) 所定の場所以外で飲食すること。

(4) その他他の入館者の迷惑になるような行為をすること。

(令元年教委規則 3・一部改正)

(喫煙の禁止)

第 6 条 何人も、博物館において、喫煙をしてはならない。

(令元年教委規則 3・追加)

(補則)

第 7 条 この規則に定めるもののほか必要な事項については、教育委員会が別に定める。

(令元年教委規則 3・旧第 6 条繰下)

附則

(施行期日)

1 この規則は、平成 12 年 4 月 1 日から施行する。

(八千代市歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例施行規則の廃止)

2 八千代市歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例施行規則(平成 5 年八千代市教委規則第 3 号)は、廃止する。

附則(平成 13 年教委規則第 7 号)

この規則は、平成 13 年 4 月 1 日から施行する。

附則(平成 18 年教委規則第 3 号)

この規則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附則(平成 20 年教委規則第 7 号)

この規則は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

附則(平成 24 年教委規則第 6 号)

この規則は、平成 24 年 9 月 1 日から施行する。

附則(令和元年教委規則第 3 号)

この規則は、公布の日から施行する。

○八千代市立郷土博物館に勤務する職員の勤務時間等に関する規程

平成 12 年 3 月 28 日

教委訓令甲第 1 号

(趣旨)

第 1 条 この訓令は、八千代市立郷土博物館に勤務する職員(以下「職員」という。)の勤務時間、勤務を要しない日及び休憩時間(以下「勤務時間等」という。)に関し必要な事項を定めるものとする。

(平 20 教委訓令甲 3・一部改正)

(勤務時間)

第 2 条 職員(地方公務員法(昭和 25 年法律第 261 号)第 22 条の 4 第 1 項又は第 22 条の 5 第 1 項の規定により採用された短時間勤務の職を占める職員(以下「定年前再任用短時間勤務職員」という。))及び八千代市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例(平成 27 年八千代市条例第 35 号)第 4 条の規定により任期を定めて採用された短時間勤務職員(以下「任期付短時間勤務職員」という。)を除く。)の勤務時間は、1 日につき 7 時間 45 分とし、かつ、4 週間を平均して 1 週間について 38 時間 45 分とする。

2 定年前再任用短時間勤務職員の勤務時間は、1 日につき 7 時間 45 分を超えない範囲内で館長が定める時間とし、かつ、4 週間を平均して 1 週間について 15 時間 30 分から 31 時間までの範囲内で館長が定める時間とする。

3 任期付短時間勤務職員の勤務時間は、1日につき7時間45分を超えない範囲内で館長が定める時間とし、かつ、4週間を平均して1週間について31時間までの範囲内で館長が定める時間とする。

(平14教委訓令甲2・平17教委訓令甲1・平28教委訓令甲1・令5教委訓令甲1・一部改正)

(勤務を要しない日)

第3条 職員の勤務を要しない日は、4週間について8日(定年前再任用短時間勤務職員及び任期付短時間勤務職員にあっては、8日以上)の割合で館長があらかじめ職員ごとに指定する日とする。

(平14教委訓令甲2・平17教委訓令甲1・平24教委訓令甲3・平28教委訓令甲1・令5教委訓令甲1・一部改正)

(休憩時間)

第4条 職員の休憩時間は、1日の勤務時間が6時間を超える場合においては、1時間を当該勤務時間の途中に置くものとする。

(平22教委訓令甲1・一部改正)

(勤務時間等の割り振り)

第5条 勤務時間等の割り振りは、館長が業務の状況に応じて月ごとに定め、あらかじめ職員に示すものとする。

(平20教委訓令甲3・旧第6条繰上)

(勤務時間等の割り振りの変更)

第6条 館長は、勤務上特に必要があると認めるときは、前条の規定により定めた勤務時間等の割り振りを変更することができる。この場合において、館長は、当該変更について速やかに関係職員に示さなければならない。

(平20教委訓令甲3・旧第7条繰上)

附則

(施行期日)

1 この訓令は、平成12年4月1日から施行する。

(八千代市歴史民俗資料館に勤務する職員の勤務時間等に関する規程の廃止)

2 八千代市歴史民俗資料館に勤務する職員の勤務時間等に関する規程(平成5年八千代市教委訓令甲第8号)は、廃止する。

附則(平成14年教委訓令甲第2号)抄

この訓令は、令達の日から施行する。

附則(平成17年教委訓令甲第1号)

この訓令は、令達の日から施行する。

附則(平成20年教委訓令甲第3号)

この訓令は、平成20年4月1日から施行する。

附則(平成22年教委訓令甲第1号)

この訓令は、平成22年4月1日から施行する。

附則(平成24年教委訓令甲第3号)

この訓令は、平成24年9月1日から施行する。

附則(平成28年教委訓令甲第1号)

この訓令は、平成28年4月1日から施行する。

附則(令和5年教委訓令甲第1号)

(施行期日)

1 この訓令は、令和5年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 暫定再任用短時間勤務職員(地方公務員法の一部を改正する法律(令和3年法律第63号)附則第6条第1項若しくは第2項又は第7条第1項若しくは第3項の規定により採用された職員をいう。))は、定年前再任用短時間勤務職員(地方公務員法(昭和25年法律第261号)第22条の4第1項又は第22条の5第1項の規定により採用された短時間勤務の職を占める職員をいう。))とみなして、第1条の規定による改正後の八千代市立公民館に勤務する職員の勤務時間等に関する規程第2条第1項及び第2項並びに第3条、第2条の規定による改正後の八千代市立小学校、中学校及び義務教育学校に勤務する職員の勤務時間等に関する規程第2条第1項及び第3項並びに第3条第1項、第3条の規定による改正後の八千代市立図書館に勤務する職員の勤務時間等に関する規程第2条第1項及び第2項並びに第3条、第4条の規定による改正後の八千代市立郷土博物館に勤務する職員の勤務時間等に関する規程第2条第1項及び第2項並びに第3条、第5条の規定による改正後の八千代市総合生涯学習プラザに勤務する職員の勤務時間等に関する規程第2条第1項及び第2項並びに第3条、第6条の規定による改正後の八千代市八千代台東南公共センターに勤務する職員の勤務時間等に関する規程第2条第1項及び第2項並びに第3条並びに第7条の規定による改正後の八千代市文化伝承館に勤務する職員の勤務時間等に関する規程第2条第1項及び第2項並びに第3条の規定を適用する。

○八千代市立郷土博物館協議会運営規則

平成12年5月31日

教委規則第8号

(趣旨)

第1条 この規則は、八千代市立郷土博物館の設置及び管理に関する条例(平成12年八千代市条例第6号)第8条第1項に規定する八千代市立郷土博物館協議会(以下「博物館協議会」という。))の運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(委員長及び副委員長)

第2条 博物館協議会に委員長及び副委員長を置き、それぞれ委員の互選によってこれを定める。

2 委員長は、会務を総理し、博物館協議会を代表する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第3条 博物館協議会の会議(以下「会議」という。))は、委員長が招集し、会議の議長となる。

2 会議は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。

3 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(庶務)

第4条 博物館協議会の庶務は、八千代市立郷土博物館において処理する。

(補則)

第5条 この規則に定めるもののほか、博物館協議会の運営に関し必要な事項は、委員長が博物館協議会に諮って定める。

附則

この規則は、公布の日から施行する。

八千代市立郷土博物館

館報

No.32

(令和7年度)

発行日 令和8年6月25日

発行・編集 八千代市立郷土博物館